

なら生協連 ニュース

No.14
94.4.20

奈良県生活協同組合連合会

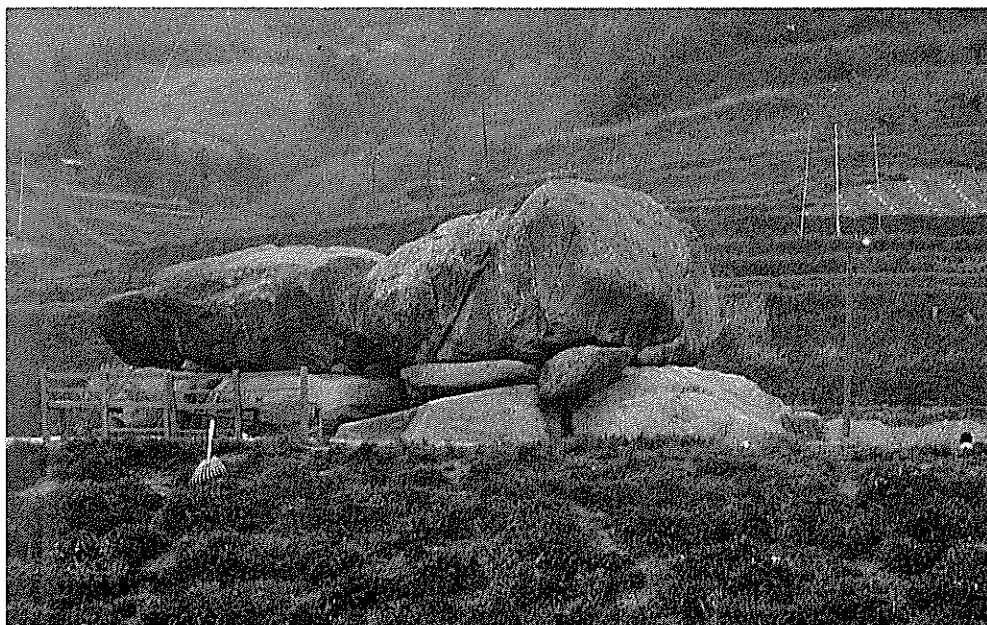
奈良市の雑1丁目2-2 ならコア気付

☎(0742)34-3535

FAX(0742)34-0043

MYSTERY IN ASUKA PART-6

飛鳥には謎にみちた石造物が多い。それらは何かを私たちに語りかけてくる。しかしその意味はわからない。まさにミステリーである。



<石舞台>

飛鳥川にそって上流に進むと道は稲^{いなぶち}渚の集落へと続く。道の行く手の低い丘陵に巨大な石を積み上げた飛鳥のシンボルともいわれる石舞台古墳が現れる。

現在は国営公園として整備されているが、江戸時代にはすでに上部の封土が失われ巨石が露出していたという。昭和8年の発掘調査によって巨大な古墳であることが明らかになった。この地方の豪族蘇我馬子の墓とも伝えられている。

こうして飛鳥のいくつかの謎の石造物を追ってきたが、今はすべて周辺が整備されたのは良いが、やはり田のなかに、あるいは草むらのなかに佇み住民の素朴な信仰をみつめて来た姿のほうが自然なのではなからうか。鉄柵に囲まれた中からは彼等の声は聞きとり難い。そんな意味でこのシリーズのうち何枚かは古い写真を使わせて頂いたこととお詫びしたい。



チーズ物語



ならコープ・常任理事 徳田恵子

昨年春、食博覧会がインテックス大阪で開かれていました。ならコープの先輩役員に「行けないから、あなた、どう？」と入場券をいただきました。会場内はとても混雑していました。空いているところ、空いているところと見ていて、子供達が小さい頃よく食べていたチーズを見つけました。それからです、チーズと私の深い、深いつきあいが始まりました。

そのチーズは美味ですぐになくなってしまいました。もっと沢山買っておけば良かったと後悔しながらも、デパート、スーパー、食料品店と、そのチーズを探して回りました。奈良、大阪と出かけていたのに、近くのチーズ専門店ですと見つけました。嬉しくて、今度は沢山買ってきて、訪れるチーズ好きの知人にもすすめています。

足しげくチーズ売り場に通ううち、他のチーズにも目が向くようになり、いろいろなチーズを食するようになりました。お茶の時間にチーズ、食前にチーズ、デザートにもチーズ。大抵はそのままバクリ。そのうち、このチー

ズはフランスパンと食べると美味しい、とか、このチーズはワインで、いやビールで、このチーズはチーズトーストにすると、一端のチーズ批評家です。

ふと気がついてみると、スカートがいやにきつい、体重計にのると針がダダーン。これではいけないと思い直してはみたものの、増えたものは、そう簡単には元にもどらない。ワンサイズ上の衣服を求めて、その足でチーズ売場へ。我ながら少々情けない気も…

世の男性は考え事をする時、煙草やコーヒー、たまにはグラスを片手にというところであろうが、私の場合はチーズです。主婦でもある私は、食後のお皿やコップを洗いながらアレコレと考えることが多い。考えがまとまらないと、つい手は冷蔵庫の中のチーズへ伸びる。冷蔵庫にはいつも数種のチーズが入っています。今おすすめのチーズは3種類あり、その1つはマイルドな味わい、COOPチーズです。どなたも是非一度味わってみてください。でも決して私のように虜になって身の破滅を招かないようご注意ください。

環境基本条例要望書を県へ提出

奈良県生協連発 93-26

1993年12月21日

県ごみ減量・資源化対策協議会

代表 和田 安彦 様

県保健環境部長

岩本 正雄 様

奈良県生協連合会

会長 繁田 實造

環境基本条例を制定するにあたっての要望書

拝啓

霜降の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当生協連合会へのご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、11月12日環境基本法案が国会で採択され成立し、11月19日に公布されました。それに伴い県、市町村でも条例化にむけて審議されると思います。

つきましては、私たち消費者組合員の意見を反映していただくようにご配慮をお願いします。また、当生協連合会で学習会を持ちたいと思いますので、環境保全課の職員の方の講師をお願いします。

今後ともご指導、ご鞭撻をあわせてお願い申し上げ、標記のお願いと致します。 敬具

記

1. 環境基本条例を審議するにあたり、①環境権の明記、②環境基本計画と住民参加、③汚染者負担の原則、④環境アセスメント、⑤情報公開の5つを盛り込むように要望します。(資料：環境基本法に対する要請書)
1. また、そのモデル例として、私たち（日本生協連合会）は『川崎市環境基本条例』（資料：別紙）を高く評価していますので、参考に是非していただきたいと思います。
1. 『県ごみ減量・資源化対策審議会』にも消費者団体として、当生協連合会の代表を参加させていただけよう、お願い致します。
1. 2月1日（10:00～12:00）に生協本部会議室で50名規模で『環境基本法を考える』学習会を行いたいと思いますので、環境保全課の担当職員を講師として派遣していただくようお願い致します。

サークル紹介

福祉サークル

さくらんぼの会 土屋 光男

ならコープは設立以来、福祉をはじめ環境などにも積極的に対応し着々と成果を挙げています。私たちも、さくらんぼの会を結成し活動してから3年目になりました。会員は三宅町の東屏風に住む女性9名と私の10名です。

7キロ程離れた隣町にある特別養護老人ホーム田原本園を訪問して活動しています。毎月開催される誕生会のほか園外の行事にも積極的に参加して介助活動をしています。

特別の場合を除き誕生会には行事も併行しています。主なものは、餅つき大会、節分の豆まき、納涼大会、クリスマス会、バザーなどです。また園外の行事では、お花見、運動会、老人福祉大会などがあります。このほか園内の部屋、食堂、廊下などの清掃、食事の配膳や食後の片付けなどに協力しています。

因にホームの定員は50名、ショートステイ、デイサービスも実施しています。入園者のほとんどが病人ですから看護婦や夜勤をする寮母も必要です。職員の求人依頼を出しても思うように集まらず寮母さんは忙しく老人と会話する時間も少ないのです。一方、入園者の家族は一年位は面会に来ますが、その後は回数も減る、中には全く来ない家族もあるので老人たちは、さみしい生活を送っています。

老人たちの話し相手になってくれるボランティアを探してほしいと園長はいます。園



毎月1回のお誕生日会

長の森さんは常に明るく、やさしい方で誕生会には必ず出席して励ました後は、お薬を減らして食事を沢山とるようにして下さいと力説しています。私たちも老人たちの立場になり小さな事でも約束は守り、個人の秘密は固く守る、介助の時は安全に配慮しながら多くの老人と会話をするよう努力しております。

私たちは、この介助活動を通じて責任感と充実感を体験しました。今後とも、さくらんぼのように小粒で微力ですが地域のお役に立つよう続けていきたいと願っております。



老人ホームでのクリスマス会

第3回組織活動研修会

— 2月23日 共済会館やまとにて開催 —

2月23日に28人集まり、各生協の活動報告を行い交流しました。各生協の報告を要約しました。さてどこの生協の報告かな。全部の正解者には粗品を出しちゃいますよ。



①花小町るんるんは「URIBO」を発行、「Windy」は春は京都散策、夏は沖縄、秋はキャンプ、冬はスキーツアー。読書時間38分。海外旅行の経験は47%。



②裁判所や衛生研究所の見学。化粧品被害やカード破産。カートンクラブ。とんトンゆかい村。時代と世相をはだで感じつつ。



③こくみん。ねんきん。マインド。ガンの早期発見、定期検査のために家庭で気軽に受けられる、ガン検査システムの提供活動。



④自主的運営30周年。女性組合員の要求に心寄せて。「生協の魅力」。さくらハイク。KARIN。

⑤レイチェル・カーソン。平和のタペストリー。福祉のオピニオンリーダー。アース。

たくさんの話題を引っ提げて、来年もみんな来るのを待っているぜ！！

サムサノナツ —この現実こそが教えを説く—

サムサノナツ

昨年はサムサノナツになり、主食コメが作況指数74でした。

宮沢賢治は岩手県の花巻市で生れ37歳で亡くなりました。最後の童話として、このサムサノナツ「グスコブドリの伝記」を書いた。主人公のグスコブドリ少年はイーハートーブの大きな森の中で生れたが、冷害で飢饉から家族が離散しました。少年が青年になり、科学の力で自然災害から農業を救おうとして、自分を犠牲に火山を噴火させてサムサノナツからコメを守りました。この作品をいわての組合員はアニメ映画にしました。

しかし、今年のコメ問題はサムサノナツの問題だけでなく、土台から問われる状況が出てきました。病気や冷害との戦いでなく、農業が『経済効率』で潰される時代がくる状況は宮沢賢治も想像出来なかったと思われます。



生協の食糧農業問題討論集会主催者あいさつ

日本の食糧基地東北より

3月18,19日、岩手県盛岡市で「生協の食糧・農業問題討論集会」が行われました。1日目は5名の東北の農家の報告があり、「専業農家では食べて行けない。大規模化は借金を残すだけ、有機低農薬栽培米は大規模化では無理、生協で産直している者だけ展望もっている。コメがだぶついたコメがだぶついたと2〜3年前に報道された。コメは本当にあったのか、産地にはあのときもコメはなかった。東京の倉庫だけに山積みしていたのでは・・・」と青森県のコメ生産者。「酪農の借金を大根で返している」という岩手の大規模酪農家などの報告が心に響きました。2日目は「生協の食糧・農業政策はいかにあるべきか」をテーマにパネルディスカッションがあり、コーディネーターは京大の嘉田良平先生、パネラーは道央市民生協専務理事、いわて生協専務理事、ユーコープ事業連合常務理事、京都生協商品企画室長、コープかごしま専務理事の5人がされました。発言内容が分かりやすく、会場からは質問が相次ぎました。「農業の話になるとすぐ『守る』だけで終り、『食糧政策、具体策』などに踏み込んだ論議が展開されていないし、やっていない」などの発言が出ました。奈良でも生協の農業・食糧政策をつくるようにしたいと決意して「ふるさとの山に向かって 言ふことなし ふる

1 メ問題について

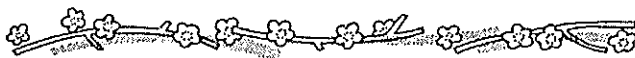
さとの山はありがたきかな」啄木のふるさと、岩手の白い山々をあとにしました。

輸入米の安全検査について

1月28日に奈良県に対して「輸入米の安全検査をもとめる要請書」を奈良県地域婦人団体連絡協議会、奈良県生活学校連絡協議会、奈良県消費生活研究会、消費生活教室OB会第二センター、消費生活教室OB会奈良センター、奈良県生活協同組合連合会の6団体で提出しました。2月9日に検査体制をとるという回答が来て、2月24日に第1回目の検査結果、3月11日に第2回目の検査結果が来ました。

政府・県行政への要請

「コメの備蓄及び食糧自給率の向上等に関する要請書」を3月3日の理事会で決議し、3月24日に食糧庁、県選出国會議員、知事、県議に送付しました。政府に対して①国民の主食に責任を持ち、必要な備蓄米の確保をすること②カロリーベースで50%以上の食糧自給率をめざす具体的な政策を確立すること③食糧の安全性の検査体制・施設の充実をすることの3項目を要請しました。



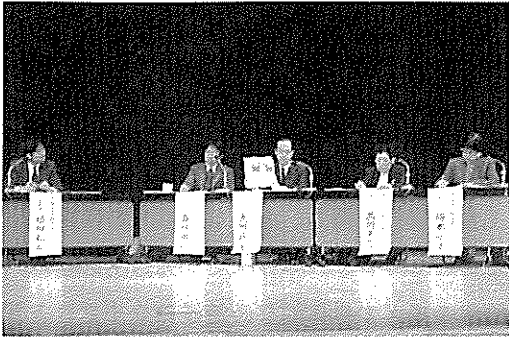
関西消費者のつどい

3月14日に大阪で6県の代表が集まり、「コメ問題を考える関西消費者のつどい」を行いました。奈良県は代表発言を瀧川専務理

事が行い、いま起きているコメ・パニックを消費者の責任のように報道したり、今回のコメ政策の失敗を天災のように取り扱うことに対しての問題点の指摘を行いました。



— 広がる協同・くらしの輪 —



1/18 奈良市消費者大学で大國事務局長が
パネラーとして参加



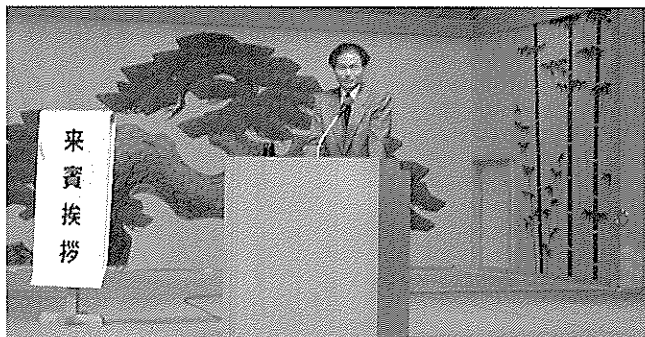
1/26 農業試験場「成果発表会」で瀧川専務が
パネラーとして参加



2/1 環境基本条例学習会で環境管理課の
職員を講師に招いた



2/4 「くらしと省エネルギー」(奈良県主催)
についての講演会に生協からも参加

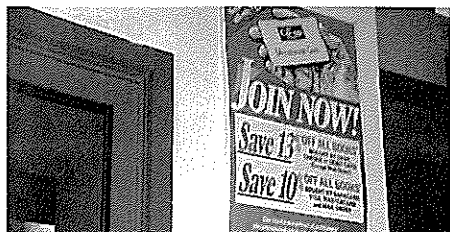


3/29 第5回JAセミナーで
ならコープ伊藤次栄副理事長が来賓あいさつ

クーペ倶楽部オーストラリア研修報告

奈良女子大学生協・専務理事 小林 利幸 その3

ブレスベンでは、気温24℃と日本とほぼ同じ温度でした。13日に名古屋空港に到着した時も気温24℃と機内で言われましたが、飛行機を降りた途端に汗がべっとりとにじみ出てきましたがブレスベンでは、そんな不快な思いはしませんでした。そのブレスベンでは山火事を見かけました。驚いてガイド氏に聞くと、曰く、「あれはユーカリが自然発火しているのでしょうか。こちらでは消化活動はしません。もちろん人家の近くなら別ですが・・・」と落ち着いたもの。国土が広いところも違うものかと感心させられるやら、驚くやら。ケアンズは、熱帯地方。3月の最初だというのに気温27℃。夏には40℃になるそうです。ここでは、稍さんという女性がガイドをして下さいました。記憶に残ったいくつかの話を紹介しますと、①所得税は30%～47%。その使い道は、ハイウェイ・公園の芝・海岸整備・失業保険／年金・寡婦への生活保護など。②町から15分くらいのところでは130坪1400万円の家が買える。などですが、高速道路の料金が\$2程度というのは、この税制のお陰なのでしょう。又、中学・高校を卒業しても働かずに失業保険をもらっているなどの話もこの税制によるものですが、働ける者が働かないという点では問題がありますが、働けない者にとっては大変ありがたい制度であります。



ブックストア前の表示

日本の生活との違いで特に気が付いたことは、①夜中でも飛行機が飛んでいる。②お酒を飲む時の「お酌」はしない。③パチンコ屋がない。逆に外国に抱いているイメージと違ったのは、①水道の水が飲める。②車が左側通行である。③コンビニエンスストアをほとんど見かけなかった。

最後に、「ワーキングホリデー」という制度が日本との間で結ばれていることもあり、日本の若い人たちが沢山働いていました。彼らは、私から言わせれば、平気で外国の生活にとけこみ文化を共有する事の出来る素晴らしいものを持っていると思います。そして、私たち大学生協の学生組合員は、彼らと何ら変わらない若者であり、新しい文化の担い手であるのです。現に、学生の多くが海外旅行の経験を持つようになっています。日本とオーストラリアは、今回の研修旅行を通して大変身近な関係にあると私自身感じましたが、今の学生たちは世界を身近に感じているのかも知れません。大学生協がこれから果たさなければいけない役割は、どうももっともっとインターナショナルでなければならないのかもしれない。それは同時に日本人のおそらく最も苦手とする異質な人種・民族、そして宗教や文化との共存を育てていくことなのかもしれない。中国をはじめ東南アジアへの侵略を未だに認めない政府のもとで、若者たちが政府の姿勢を真に批判できるときにはじめて、外国との文化の共有が出来るように思います。これを機会に私もこんな事を考えるようになりました。

奈良女子大学生協

奈良女子大学生協では、1月から3月にかけて「新入生を暖かく迎えよう」と学生委員会を軸に文レク委員会や他の委員会の学生が一緒になって取り組みをすすめました。後期試験がある中で先輩から新入生への大学生活メッセージを3分冊に分けて作成しました。

今年は特に学部紹介をしっかり行おうと各学科毎に先生にメッセージを頂くために走り回りました。また学科の先輩の声も載せようと回りの組合員に協力をしてもらいました。更に例年通りクラブ・サークルに声を掛けて原稿を集め、締切に追われながら必死にペンを走らせました。今年は郵便料金の値上げがあり少しでも安い「郵パック」で届けようかと思いましたが、留守でも確実に配達してくれる普通郵便を使いました。「ならMAP」「HEARTS OF NARAJOSEI」は全員に、「学部紹介」は理学部・文学部・生活環境学部のそれぞれ別々にお届けしました。

春休みに入ってから、受験生への激励と父母説明会、新入生歓迎企画の申込受付を行いました。昨年受験した先輩として受験生の緊張が手に取るように分かるだけに、受験日の取り組みは配慮の行き届いた宣伝を心がけました。また、付添いの父母の方に大学生活の様子を知って頂いて、安心して奈良女子大学に入学してもらえればとの思いの大学生活説明会でした。学生が司会や下宿生活の説明・寮の説明などを直接行い、参加された方から拍手を頂くなど大変好評でした。参加者は

200名弱でした。新入生歓迎企画は、4月10日の入学式前日に実施ですが、上回生にとっては春休み中の入学手続き日に申し込みの受付を行いました。既に400名ほどの申し込みがあり、企画の詰めに余念がありません。

帰省とスキーと旅行とクラブの合間を縫って、準備のためお互いに時間の都合をつけながら学校にきては、わいわいがやがや頑張っています。

(小林専務理事)

奈良教育大学生協

3月14日、28日と新入生の合格手続きがあり、学生委員会のメンバーが生協と共済の加入の案内を行いました。また、生協食堂ホールでは、新入生のあらゆる不安や疑問に応えようと、「なんでも相談会」を開催し、3/14は20名近くの新入生や保護者の方が参加され、「参考になってよかった」「先輩と話ができてよかった」など好評でした。

今後は、新歓企画の準備が本番となり、いよいよ楽しい春を迎えることとなります。

(足田専務理事)

奈良県労働者共済生活協同組合

『春のキャンペーン実施中』

労済生協では、2月末の理事会において、県本部を上げて「こくみん共済」の加入促進活動を行うことを確認致しました。

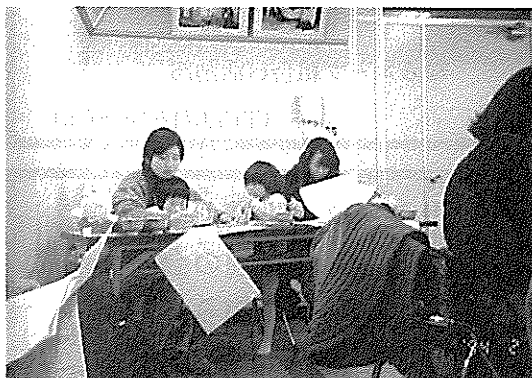
については、TVCF・新聞広告等の宣伝を中心として、事務局でもビラのポスティング、金融機関訪問、協力団体でのビラ配布等、加入促進に努めています。

この機会に皆さんも是非ご自身の保障を見直していただき、こくみん共済のご加入をご検討ください。

なお、労済生協は、この時期は、次年度計画、策定にあっていますので、ご意見、ご要望があれば、お寄せ下さい。

とりあえずの近況報告とします。

(中井事務局次長)



学習会に参加の組合員

ならコープ

環境分野では、2/5(土)に第22回牛乳パック回収が行われ、10.49トンが集まりました。次回は4月2日です。2/8(火)には、アルミ缶回収協力賞「受賞記念シンポジウム」(コープいまご)が開催され、アルミ缶協会より、協会賞をいただきました。

福祉分野では、1/27(木)ユニセフ協会より感謝状が寄せられました。3/3(木)からは4講座30名規模で日赤老人看護講習会が行われました。

平和分野では、1/28(金)平和学習ハイキングが国際平和ミュージアム(京都)を中心に行われました。

2/14からは510会場で県下全域で春の班長会が催され、テーマは「参加・発見そして実感」の内容で取組まれました。また、サークル交流会(環境・文庫・食事の会)も催されました。1/14の消費税率アップ反対国民投票(近鉄奈良駅)の行動も行われました。

3/1(火)には、「コメ輸入の部分解放」に関する講演会とシンポジウムが300名の参加で行われました。

3月から4月にかけては、歩く会、テニス会をはじめ4/24(日)アース・デーの取組み、平和行進実行委員会、グループ総会(カートン・平和・たすけあい)とめじろおしになっています。

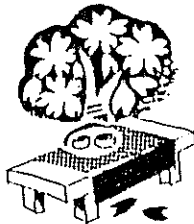
(組合員活動部・山本)



- 1/18奈良市消費者大学（事務局長）
1/26農業試験場「成果発表会」（専務）
- 2/4省エネルギー月間研修会
2/21関消懇 会議（事務局長）
2/23組織活動担当者研修会
2/28P L法緊急集会
- 3/1ならコープ・コメ学習会
3/3環境基本法学習会
第4回理事会
3/7協同組合連絡会・事務局会議（事務局長）
3/14コメ問題を考える消費者のつどい
3/29第5回J Aセミナー

主な予定

- 5/28 第6回通常総会
7/2 第5回生協大会
10/23第7回協同組合フェスティバル



アース・デー

日時 4月24日（日）
秋篠川コース

集合	10時	唐招提寺駐車場
解散	13時	平城宮跡
内容	鯉の放流・水生生物の観察	

高取川コース

集合	9時30分	久米寺南横児童公園
解散	11時30分	白樺近隣公園
内容	鯉の放流・お花植え	

'94 奈良県市民平和行進

日時 6月26日（日）～30日（木）

第18回合成洗剤研究会

事前セミナー 6月11日（土）12日（日）
会場 奈良県新公会堂と奈良公園
本研究会 8月27日（土）28日（日）
会場 奈良県新公会堂
〈問い合わせ・申し込み〉
ならコープ組合員活動部
(TEL0742-34-8735)

リサイクル推進の会長賞 福祉・文化推進の会長賞 募集のお知らせ

原稿用紙5枚以内に活動内容をまとめ、各生協に5月末までに提出してください。選考の上、7月2日の生協大会で表彰します。